

調査概要

【調査目的】

過去4回実施した調査と同様、全国の病院の医用放射線機器導入状況、利用者の評価、今後の導入状況などを調査し、現状を把握する。

また、前回実施の調査結果からの傾向の変化・推移を分析し、医療現場のニーズに合った製品、サービスを提供する為の基礎資料とする。

【調査項目】

1. 導入実態

医用放射線機器の導入状況
医用放射線機器の導入台数
導入時期・買い替えの年数

2. 利用実態

中古機器の利用状況
故障の発生状況
機器への満足度
保守点検の実施状況・アフターサービスへの満足度
メーカーへの改善希望

3. 今後の動向

今後の導入予定
次回の導入時に重視する点

【調査方法】

郵送調査

設置形態、病床数、地域等の割付を調査票発送前に決定し、以下を封入し、調査対象者に郵送。

- ・ 11頁の調査票
- ・ 調査対象製品の適用・解釈をまとめた「調査機器適用表」
- ・ 調査依頼状
- ・ 返信用封筒

* 調査期間途中で未回収施設に調査票を再発送。

【調査対象】

1. 調査対象者

全国の病院に勤務する放射線技師長 1026名
調査対象者の選定は、「全国病院年鑑」(R & D社刊)を使用し、放射線技師長宛で発送。

2. 調査対象施設

国立病院及び大学附属病院
自治体立病院
国公立以外(大学附属病院は除く)病院
注:設置形態、病床数、地域等の割付は事前に決定。

【発送数・回収数】

病院規模	発送数	回収数	回収率
500床以上	426	150	35%
300～499床	200	110	55%
100～299床	200	93	47%
99床以下	200	92	46%
全体	1026	445	43%

【実査期間】

2006年12月12日～2007年1月25日(調査票発送～締切 * 督促期間含む)